



2025 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 インフォメティス株式会社
代表者名 代表取締役社長 只野 太郎
(コード番号: 281A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 横 溝 大 介
050-8882-9931 (IR 問い合わせ先番号)

2025 年 12 月期通期業績予想の下方修正の可能性に関するお知らせ

2025 年 2 月 13 日に公表いたしました「2025 年 12 月期の通期業績予想に関する策定根拠及び補足説明」において、調整が行われている旨お知らせしておりました当社グループの主要取引先（以下「大口顧客」）との取引につきまして、このたび終了する見込みとなりました。

これに伴い、今期業績予想のレンジ上限値において見込んでいた大口顧客への電力センサーの販売による「アップフロント」領域の売上約 400 百万円が見込めなくなったことから、上限シナリオが消滅し、実質的にレンジの上限がなくなる見込みです。

加えて、「プラットフォーム・アプリ提供」領域及び「その他」領域においても、プロジェクト進行や顧客導入時期の遅れが発生しており、今期の売上計画を下回る見込みです。

「プラットフォーム・アプリ提供」領域は、小売電気事業者向けサービス（デマンドレスポンス (DR)、NILM Lite) において、実績は底堅く推移したものの、新規顧客の獲得及び導入スケジュールが後ろ倒しとなったことから、見込んでいた新規顧客の獲得が目標数に届かず、計画を下回る見込みです。

「その他」領域は、次世代スマートメーターにおいて、各電力会社における次世代スマートメーターの導入計画自体は予定通りであると認識しておりますが、次世代スマートメーターのデータを活用する付随的な応用サービスの開発については、実施が翌期以降となる見通しであること及びその他の受託案件についても、当初の見込みより低位に推移したことから計画を下回る見込みです。

経常利益段階では、大口顧客向けサービスの終了に伴い、当社グループの関係会社が保有する電力センサー在庫の回収可能性を踏まえた影響を、当社としても慎重に検討しております。

その結果、当社連結ベースで必要と判断される範囲でのリスクの反映を行う見込みです。

上記を総合した 2025 年 12 月期業績予想に対する具体的な影響額の算定は、現在精査中であり、当該精査が完了次第、速やかに開示いたします。

以上